

## 業務説明資料

### 令和 6 年度浜松市 D X 人材育成研修業務

#### 1 目的

デジタルの力を最大限活用し、市民起点・ユーザー中心のサービスや業務をデザインし、市民サービスと行政の生産性の向上を実現する能力や技術を身に付けた D X 支援者（メンター）を育成する。

D X 支援者（メンター）は部局横断で各部局や職員（メンティー）と共に市民サービスの向上や業務改革、働き方改革を推進し、D X や L G X の推進をけん引する。また、このような活動を通じて、変革マインドを庁内に広く伝播することを目的・役割とする。

#### 2 委託内容

##### (1) 研修実施業務

###### ①研修日程

契約締結の日から令和 7 年 2 月 2 8 日までの期間において、最低 5 回以上実施する。  
詳細日程は、受託者決定後に協議し決定する。

###### ②会場

ア. 浜松市地域情報センター 3 階研修室  
イ. ア以外の場合、浜松市内の交通の便が良い場所を受託者が確保すること。

###### ③人数

30 名程度

###### ④ D X 支援者（メンター）として必要な要素

D X 支援者（メンター）として必要な 3 つのスキルと 2 つのマインドを習得する。

###### 【3 つのスキル】

① B P R、D X プロセス

② サービスデザイン

③ アジャイル対応

###### 【2 つのマインド】

① 変革マインド

② メンターマインド

###### ⑤ 育成能力

ア. サービスデザイン

・ サービスデザインの手法等

イ. 課題検討/業務デザイン/B P R

・ 市民サービスや生産性の向上に向けた業務改善および新規業務の設計におけるフレームワーク

・ 変革に必要な意識、視点等

ウ. データ利活用

・ データ分析、データ活用に必要なスキル等

エ. I T リテラシー

・ 先進技術のトレンドや活用事例等

オ. マインドチェンジ、メンタリング

・ コミュニケーション、コーチング、メンタリング等

カ. 報告ピッチ

・ 市長に対する研修報告（ピッチ形式）

##### (2) 研修受講者のフォローアップ業務

・ 研修受講者が習得した知識や技術を実務に活用するにあたり、受講者同士での情報共有や意見交換を行うオンラインチャットコミュニティ（以下、「Slack」）を浜松市が用意する。

・ 受託者は、Slack に参加し、研修受講者が「1 目的」に掲げる能力や技術身につけるための必要な情報を定期的に提供し、受講者の情報の取得と理解を促すこと。また、その他取り組み等も含め受講者同士のチャットコミュニケーションを活性化するために積極的な支援を行う。

・ 受託者は、Slack 上で、研修受講者の質問や疑問に答え、また成長を促すために必要なスーパーバイズを担う。

## 別紙 2. 業務説明資料

- ・ 支援実施期間は、契約締結の日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの期間において実施する。ただし、支援開始時期は浜松市と協議して決定する。

### (3) 成果品（納品物）

#### ① 研修実施報告書

- ・ 各種研修を実施した際には、実施報告書を作成し、Slack 経由で提出すること。

#### ② フォローアップ業務報告書

- ・ 支援実施期間中の毎月末に、受講者からの相談対応等の支援実施概要がわかる業務報告書を作成し、Slack 経由で提出すること。

### 3 委託経費

上記に基づき、研修を実施する上で、必要な全ての経費を盛り込む。

### 4 その他

- (1) 業務遂行にあたり、本仕様書に定めていない事項が生じた場合及び疑義が生じた場合は、その都度協議し定めるものとする。
- (2) 業務が完了したときは、委託業務完了報告書を提出するものとする。